

1月24日 研修医 K先生 テーマ「敗血症性ショック」

1 循環血液量減少性ショック

出血, 高度脱水, 広範囲熱傷

2 血液分布異常性ショック

敗血症, アナフィラキシー, 神経原性 (脊髄損傷)

3 心外閉塞・拘束性ショック

心タンポナーデ, 緊張性気胸, 肺動脈塞栓症

4 心原性ショック

急性心筋梗塞, 弁疾患 (AS, MS等), 不整脈, 心筋症

症例 70代 女性

昼前から悪寒、発熱があり、内科受診。

胆管炎による発熱を疑い、スルペラゾン1g×2回/日点滴で治療中。
血圧低下でコール



Take home message

ショックの対応は早いほどいい。
そのためにはショックと認識できることが大切。

具体的な治療を知っておくことが必要。